



BMT(バイオメカセラピー) 講習会のご案内

バイオメカセラピー(BMT)は、人間工学に基づいて体系化された理学療法の新しいコンセプトです。

患者の日常生活活動を制限する要因を動作能力という側面から分析し、動作障害を治療するための基本コンセプトです。

このBMT オフィシャルコースは、他の講習会では学習できない完全オリジナルの講習・実技コースです。

BMT シニアインストラクター

石井慎一郎(理学療法士/保健医療学博士/同慶医療福祉大学大学院 教授)

BMT OFFICIAL WEB SITE : <http://www.bmt141.jp/>

※BMT セミナーでは参加者の方へ復習用動画配信を致します。

※詳細確認・お申し込みは BMT ホームページよりお願い致します。



3 DAYS 名古屋開催

BMT下肢機能シリーズ

～運動器疾患に対する理学療法アプローチ～

- ① 2月08日(土) : 変形性膝関節症・THAに対する理学療法アプローチ
- ② 3月15日(日) : 変形性股関節症・THAに対する理学療法アプローチ
- ③ 3月29日(日) : 足関節・足部機能に対する理学療法アプローチ

【第1回：変形性 膝関節症・TKAセミナー】

変形性膝関節症に対する保存療法では、膝関節の内班ストレスをどのように減弱させるかが重要となる。膝関節の正常なバイオメカニクスから、変形性膝関節症患者の病態を理解し、保存療法を立案するための基本的概念について解説を行う。

また、人工膝関節置換術(TKA)は部位を問わず、機能障害を改善する目的で行われており、術後の身体機能が術前よりも向上するためのアプローチが求められる。

膝関節における人工関節のメカニズムと、術後患者に生じる動作特性を説明した上で、身体運動の協調性を目指す新しい戦略の学習についてどのようにアプローチすべきか、その手法について解説を行う。

※いずれも、実際に実技をおこない評価・治療に必要なテクニックを習得して頂くセミナー構成となります。

【第2回：変形性 股関節症・THAセミナー】

股関節は重心制御において非常に重要な役割を果たしており、機能不全に陥ると体幹が代償的な可動性が求められることとなり、ひいては身体運動の協調性が損なわれることに繋がる。

そこで本セミナーでは、股関節における人工関節のメカニズムと、術後生じる運動特性から股関節の正しい回転軸の形成や、腰椎-骨盤-股関節の協調運動、荷重など、協調運動を再獲得するためにセラピストが介入すべき事項を、具体的なアプローチを交えて説明したい。

【第3回：足関節・足部機能セミナー】

複雑に構成される足部だが、姿勢の制御や歩行各相のコントロールにおいて重要な役割を担っている。また、運動連鎖の観点から考えると、起立動作や歩行といった下肢荷重環境において、足部アライメントの崩れは動作の不安定性につながり、2次的に膝や股関節・体幹におよび代償を引き起こし、過剰ストレスを受ける部位に関しては疼痛を生じさせる。

本セミナーでは、複雑な足部をシンプルに捉え、足部の評価と機能性を獲得するためのアプローチについて理解していく。

【講師】石井慎一郎 重枝利佳 江原裕作

【会場】：(株)gene セミナールーム 名古屋医健スポーツ専門学校第2校舎

詳細確認・お申込み：<http://www.bmt141.jp/> ←BMT ホームページでご確認下さい。



株式会社 風の谷プロジェクト BMT 研究会

BMT OFFICIAL WEB SITE - <http://www.bmt141.jp/>

MAIL : info@bmt141.jp